



▲「日本平の茶畑から望む清水港と富士山」静岡支部 中西 敬一

CONTENTS

- | | | | |
|----|--------------------|----|-----------------------|
| 2 | 地本・支部だより | 11 | 読者のひろば |
| | ●本部 | | 本部長退任に当って 小尾 嘉俊 |
| | 平成24年 | | 鉄道工友会誌で優秀賞を受賞 服部 栄一郎 |
| | 春の叙勲受章おめでとうございます | | 老いと病に追いかけられて 大竹 俊郎 |
| | 平成24年度 | | 我が儘な遺憾でも心の故郷になる 戸田 達雄 |
| | 東海鉄道OB会会長表彰式及び総会開催 | 13 | 投稿ページ |
| | 会長に天谷昭裕氏が就任 | | 中津川支部 荻野 清 |
| | 平成24年度 | | 島田支部 大石 武義 |
| | 東海鉄道OB会基本方針 | | 「東日本大震災の記録」発刊について |
| 4 | ●名古屋地方本部 | 14 | インストラクター |
| | 竜山地区に待望の新支部が誕生 | | 誰でも出来る 楽しいグラウンドゴルフ |
| | 京都御所の参観と醍醐寺の花見を終えて | | 瀬澤 典年(湖西支部) |
| 5 | ●静岡地方本部 | | 沿線歩記 |
| | 今年は女性会員パワーで活性化 | | 木曾福島駅 |
| | 総会に初めて女性会員が参加 | 15 | 文芸 |
| 6 | JR東海トビックス | | 編集後記 |
| 9 | 東海鉄道OB会 会員優待情報 | | |
| 10 | お元気ですか? 名古屋セントラル病院 | | |
| | 生活不活発病をご存知ですか? | | |

本部

平成24年 春の叙勲受章おめでとうございます

平成24年4月29日、春の叙勲受章者が発表され、東海鉄道OB会関係では、8名の方が鉄道業務功勞で、栄えある賞賜を受けられました。

その伝達式が、6月1日東京プリンスホテル「鳳凰の間」で行われました。(順不同)

瑞宝 双光章



三河支部
鷺尾 孝一 様

瑞宝 双光章



半田支部
河合 由平 様

瑞宝 双光章



笠寺支部
西沢 章二 様

瑞宝 双光章



岐阜工務局支部
大川 洋一 様

瑞宝 単光章



半田支部
竹内 茂忠 様

瑞宝 単光章



岐阜支部
北田 弘 様

瑞宝 単光章



津支部
山田 義雄 様

瑞宝 単光章



松阪支部
御子 稔 様

平成24年度 東海鉄道OB会会長表彰式・総会開催 会長に天谷昭裕氏が就任

東海鉄道OB会 事務局

東海鉄道OB会は平成24年度会長表彰式及び総会を、5月23日(金)11時から名古屋マリオットアソシアホテルで開催しました。

会長表彰式及び総会には、来賓としてJR東海の柘植康英代表取締役副社長、樂山芳樹取締役総務部長、長崎修総務部次長、JR貨物の白石執行役員東海支社長、また東海鉄道OB会から石塚会長をはじめ会長就任予定のジェイアールセントラルビル(株)代表取締役社長天谷昭裕氏、副会長、専務理事、代議員及び会長表彰受賞者47名が出席されました。

表彰式では、OB会の発展・運営に多大な貢献のあった特別功勞章2名のほか、会員増強表彰(団体)には3団体、増収協力表彰には1個人が、役員功勞表彰は21名が受賞されました。



▲会長から特別功勞章を受ける本多さん

会長表彰受賞者は次の通りです。(敬称略)

○特別功労章

静岡地方本部 湖西支部 本多 喜一
名古屋地方本部 笠寺支部 二村 昌士

○会員増強優良団体表彰

静岡地方本部 島田支部
名古屋地方本部 稲沢支部 伊勢支部

○増収協力優良個人表彰

名古屋地方本部 西濃支部 竹内 重雄

○役員功労表彰

(東海東京地方本部) 車両支部 大津 行雄
(静岡地方本部)

三島支部 原 唯士 富士支部 天野 良英
静岡支部 森下 勇 藤枝支部 小野田 重夫
島田支部 宇石 文男 磐田支部 平野 利一
浜松東支部 栗田 博 豊橋支部 金田 敏郎
(名古屋地方本部)
三河支部 平岩 三夫 名古屋南東支部 原田 俊雄
稲機支部 勝野 照男 垂井支部 富田 和磨
滋賀県支部 畑 嘉政 尾北支部 松岡 弘
高蔵寺支部 小林 昭二 中津川支部 丸山 裕
津島支部 横江 正俊 四日市支部 中尾 久三
松阪支部 松田 修一 伊勢支部 森本 幸生

総会では、23年度中の物故者に対する黙祷を捧げた後、

石塚会長は、「日頃から、OB会活動に尽力をいただき、今日表彰を受けられた団体、個人の方々にお礼申し上げます。

昨年の東日本大震災では、皆さんの協力で速くの仲間へ義援金を贈ることができ喜びました。

またOB会活動では、会員増強と各支部の特性を生かした活動等、JRへの協力を核に取り組みでもらいました。全国でも会員の減少の比率が少なかったのは、皆さんが明るいOB会活動を展開されている成果だと思います。財政問題も



▲皆さんに選任のお礼を述べられる石塚会長

JR東海のご協力で安定した財政になり、感謝しています。

今期をもって退任しますが、皆様に支援していただきありがとうございました」と挨拶されました。

来賓を代表して植穂JR東海副社長は「昨年は大災害からスタートしたが夏ごろからお客様が戻り最後は計画を上回りました。

リニア計画は順調にきていて15年後開通予定、また3年後には名駅北に新ビルが完成し名古屋駅がますます賑やかになります。

OB会の皆さんには、JR及びJRグループの施策や、さわやかウォーキング、SLや駅の清掃、事故防止、増収にと幅広く助けてもらって感謝しています。これから都市対抗野球が始まりますので、JR東海野球部も引き続き応援して下さい。OB会の皆さんには生き生きと有意義な活動を続けて下さい」と述べられました。

その後、23年度の事業報告と収支決算の説明、会計監査員から監査結果が報告され承認されました。続いて24年度の基本方針(案)と予算(案)が審議され原案どおり承認されました。役員改選では石塚会長の退任に伴う会長選任の件について趣旨説明が行われ、天谷昭裕氏が選任され就任されました。

就任された天谷会長は「私はまだOB会では若年層だけけど、OB会は交流の場であり、みんなでJR東海に協力し、応援団として存在を示すため、OB会を活発にしたいので協力をお願いします」と就任の挨拶を語られました。

役員の交代は次の通りです。(敬称略)

会長 新任 天谷 昭裕
同 退任 石塚 正孝



▲OB会活動にお礼を述べられるJR東海植穂副社長



▲就任の挨拶をされる天谷新会長

平成24年度東海鉄道OB会基本方針

1. 会員の増強

- (1) JR退職者の新規入会促進
- (2) 未加入者の発掘と入会誘惑
- (3) 退会者の抑制
- (4) 女性会員(遺族会員・準会員)入会促進

2. 支部活動の活性化

- (1) インストラクターの活用と深度化
- (2) 各種レクリエーションの開催
- (3) 支部総会の創意工夫

3. JR東海及びJR東海グループ会社への協力

- (1) 旅行会の実施
- (2) SL等鉄道展示車両清掃及び駅の清掃、環境美化
- (3) さわかやウォーキング、イベント等の応援
- (4) 踏切事故防止運動への協力

4. 会員相互のコミュニケーションの向上

- (1) 会報の充実
- (2) ホームページの充実
- (3) メールを活用

名古屋地方本部

亀山地区に待望の新支部が誕生

亀山支部 黒田 力

平成24年4月1日、三重県の亀山地区に待望の「亀山支部」を設立しました。

当地区にはすでに国鉄時代のOB会がありました。平成17年の組織再編の際、西日本鉄道OB会の所属となり、JR東海退職者は、西日本のOB会が少し離れた津或いは鈴鹿支部へ入会するしかありませんでした。そのため入会者はわずかで、早く亀山地区に東海のOB会を設立してほしいという声が上がっていました。

そのため、亀山在住の有志で準備委員会を立ち上げ、OB会本部或いは地方本部と連絡を取りながら準備を進めてきました。当初は会員が10名程度と心配しましたが、準備委員が友人、知人に連絡をして入会を勧めた結果、予定をはるかに超える27名の会員を迎える事が出来ました。

4月1日の設立総会は、亀山駅前のレストランを会場に15名の会員と来賓としてJR東海佐川三重支店長、亀山駅長そしてOB会本部南川専務理事、平井地方本部長、岡津支部長等をお迎えし開催しました。



▲亀山支部発足に決意も新たに

総会では早速、役員を選出し続いて会則の承認、今年度の予算、基本方針を承認しました。まだまだ生まれたばかりの小さな支部ですが、みんなと力を合わせて支部の発展とともに楽しい支部を目指しますので、宜しくお願いします。

京都御所の参観と 醍醐寺の花見を終えて

名古屋地区協議会 二村 昌士

名古屋市内に所在するOB会8支部で構成する、当協議会では、毎年桜が咲くころに恒例としてJRへの増収旅行に出かけています。

今回は、4月5日JR東海バスを利用して、古都の歴史散策とお花見を兼ねて「京都御所の参観と平安神宮の紅枝垂桜の観賞」と銘打って、参加者40名が名古屋駅に参集しました。しかし、この日は異常気象の影響か、曇り空でやや冷えていました。そこへバス会社から平安神宮の桜はまだ咲いていないことを知らされ、急遽、行先を平安神宮のコースから醍醐寺へ変更し出発しました。

バスは、東名阪、新名神高速を快適に西へ西へと走りながら、バスガイドさんの流暢な案内と、お酒も手伝い車内は大変盛り上がり和気藹々の雰囲気でお酒を飲み、ます八橋庵で「京の竹の子料理」に舌鼓を打ちました。

その後、バスは一般公開された「京都御所」に到着し、紫宸



▲京都御所の枝垂れ桜の前で

殿、清凉殿等の平安時代の寝殿造りや、御学問所等宮廷の長い歴史的な建物を拝観し、築地塀で囲まれた面積11万㎡の敷地内で、千年の古都の奥深さを肌と感じました。

続いて、鴨川を渡るバスの車窓から「牛若丸と弁慶」の姿を見おろし、京都の南に位置する真言宗の醍醐寺に移り、特別史跡の「醍醐三宝院」を参観しました。しんとと降る春雨の中に枝垂桜が満開に咲き乱れ、あの豊臣秀吉になった気分です。醍醐のお花見を鑑賞出来、特別にご褒美をもらった気分を味わい楽しい春の旅になりました。

静岡地方本部

今年は女性会員パワーで活性化

三島支部 西島 孝男

当支部は4月15日、三島市長及びJR三島駅長、地本から小尾本部長をお迎えして、支部例会(総会)を46名の参加をえて市内大中島会館で開催しました。

本年度は役員改選期で、事前の1月22日の例会で執行部一任の承認を得ていましたので、新役員名簿案を提出し、改選内容及び理由を説明しました。それには、病気で副支部長が退任されるのに伴い、後任に女性監査役の村田隆子さん、その監査役の後任に女性幹事の正岡淑子さんを充て、女性幹事の諏訪部松枝さんは相談役。女性会員の遠藤勝子さんは幹事に就任。その他の役員・幹事は留任と発表しました。

選考理由としては①女性会員がレク活動及び例会で貢献されていて、支部の活性化にも生かしたい②昨年会員の死亡が10名と増加傾向にあるため、遺族会員の加入促進とフォローに女性の方が必要であること③女性会員が支部活動に積極的に参加してもらうことにより、支部全体が賑やかで明るくなり会員増強に繋がるのではと説明しました。その



▲音楽に合わせてダンスを披露する女性会員のみなさん

結果満場一致で承認されました。

当支部としては、女性会員のパワーを借りてさらなる活性化、会員相互のコミュニケーションの向上に取り組み、組織拡大を図っていくこととしました。

総会に初めて女性会員が参加

静岡支部 中津川 久

春爛漫の4月21日、平成24年度の当支部総会をホテルアソシア静岡で、会員60名が参加して開催しました。今まで支部の行事には女性も参加されていましたが、今年は、初めて総会に女性2名(会員・準会員)が参加されて、会場は、華やかで賑やかな雰囲気になりました。

総会は、活動報告、会計報告の承認を得て、平成24年度は「特に温かく・思いやりのある」活動を目指し①80歳以上の会員に支部長直筆の手紙を地区幹事より手渡しする②OB会報を届ける際には、会員の健康状態や近況を伺う③グラウンドゴルフは月2回、囲碁クラブは月1回、ゴルフコンペは年6回、カラオケ交流会は年4回開催する等、健康で生きがいのある人生を楽しんでもらおうと、昨年に引き続いて実施することを決定しました。総会後には、インストラクターの青木衛市さんのフルートと田宮正三さんのバイオリンによるミニコンサートを楽しみました。



▲音楽が流れる中、女性が参加した和やかな総会

平成23年度

期末連結決算を発表

(4月26日)

●財務部

平成23年度は、震災を受けての大幅なご利用の減少から始まりましたが、安全・安定輸送の確保を最優先に、収入の確保と一層のサービス充実を図った結果、当社単体の運輸収入は震災の影響から次第に回復、期間全体では増収となり、連結営業収益全体でも増収となりました。

また、物件費の減により営業費が減少した他、支払利息の減等による営業外損益の改善もあり、経常利益は増益となりました。なお、法人税率引下げに伴う繰延税金資産の取崩しの影響により、当期純利益はわずかに減益となりました。長期債務については、3兆円を切って2兆8,667億円となりました。

平成24年度については、増収増益を見込みますが、引き続き安全・安定輸送の確保を最優先に、グループ全体で収益力の強化と設備投資を含めた業務執行全般にわたる効率化・低コスト化等に努め、経営体力の充実を図ります。このため

にも、社員一人ひとりがさらなる緊張感を持って、日々の業務に取り組むことが重要です。

■平成23年度連結決算のポイント

営業収益	1兆5,083億円 (+52億円)
経常利益	2,638億円 (+352億円)
当期純利益	1,327億円 (△10億円)

()内は対前年同期増減

■営業収益、営業費等の構成 (単位:億円)



(注)記載金額は単位未満切り捨て表示

災害などの発生に備えて

駅滞留者対応訓練

●総務部 ●東海鉄道事業本部
●新幹線鉄道事業本部 ●静岡支社

当社では、災害などにより駅に多くの方が滞留された場合、駅施設が安全であることを前提に駅待合室やコンコース、トイレ等をご利用いただくなど可能な限りの対応をすることとしており、東日本大震災当日も首都圏の駅において非常に多くの方が滞留されましたが、これまで同様の対応をしております。

この大震災の経験を踏まえ、当社では主要駅において開放できる場所や案内誘導の方法について再検証を行い、今回その確認のため、2月3日深夜に静岡駅、24日深夜に名古屋

駅で関連会社も含めた駅滞留者対応訓練を実施しました。

静岡駅では、台風の影響により駅に多くの方が滞留したという想定のもと、駅社員や静岡支社の非現業社員約60名が参加して訓練を行いました。

また、名古屋駅では、平日の正午に震度5強の地震が発生したという想定のもと、駅社員や東海鉄道事業本部、本社部門の非現業社員約150名が参加してコンコース内の通路確保、滞留された方々への案内誘導、防寒用アルミシートの配布などの訓練を行いました。

この他にも、昨年9月には品川駅にて警視庁が主催した訓練に参加しており、2月には東京都が主催した東京駅における訓練に駅社員や新幹線鉄道事業本部の非現業社員約60名が参加しました。

今後は、今回の訓練で得られた知見を活かし、自治体や警察、消防などと連携し、対応の深度化を図っていきます。



▲駅滞留者への防寒用アルミシート配布訓練(名古屋駅)



▲乗客の誘導訓練(静岡駅)



▲自治体指定の避難場所への誘導訓練(東京駅)

新たな街づくりの拠点 相見駅開業

●東海鉄道事業本部

3月17日、ダイヤ改正に合わせて東海道本線・幸田～岡崎駅間に「相見(あいみ)」駅が開業しました。前日の16日には幸田町主催による完成式典が開催されました。

相見駅は、幸田町が計画する町北部地区の新たな街づくりの核として、地元からの要望で設置した請願駅で、幸田駅から3.1km、岡崎駅から4.3kmに位置します。JR発足後の当



▲完成した相見駅

社在来線の駅としては平成21年3月に開業した東海道本線「南大高」駅に次ぐ14番目の新駅です。

新駅設置地域は、幸田町の前身である旧相見村地区にあたり、地元でも親しまれている地名である「相見」を駅名としました。

駅舎は、自由通路併設の橋上駅舎でホームは2面3線、各ホームにはエレベータを設置し、多機能トイレも設置するなどバリアフリーにも配慮しています。

相見駅が新しい街の核として地域の皆さまに愛され、多くのお客さまにご利用いただけることを期待しています。



▲自由通路入り初めの様子



▲完成した相見駅

4月21日「manaca」との 相互利用サービス開始

相互利用記念TOICAを限定発売

●営業本部 ●東海鉄道事業本部

4月21日から、「TOICA」と名古屋市交通局・名古屋鉄道(株)等のICカード「manaca」との乗車券機能の相互利用サービスと、IC連絡定期券の発売を開始しました。

平成21年6月に相互利用サービスの実施に向けた検討を開始して以来、関係各社局との調整や機器システムの開発等、入念な準備を行った結果、トラブルもなく予定通りサービスを開始することができました。

当日は、名古屋駅イベントスペースにおいて、相互利用スタート記念セレモニーを開催しました。阿久津副社長をはじめ主催者の挨拶とご来賓の中部運輸局甲斐局長の祝辞をいただいた後、中央改札口の改札機を使用して、主催者、ご来賓代表による通り初め式を行いました。

また、相互利用スタートを記念して、特別デザインの記念TOICAを1万枚限定で発売しましたが、予想を上回る大きな反響で、全ての駅で即日完売となりました。

平成25年春には、「PASMO」や「PiTaPa」等との相互利用や「manaca」との電子マネー機能の相互利用の開始を予定しています。ますます便利になる「TOICA」にご期待ください。



▲記念セレモニーの様子



▲通り初め式の様子



▲記念TOICA

東京駅の商業施設

「東京駅一番街」
リニューアル工事が完了

●事業推進本部

今年4月、東京駅に展開する商業施設「東京駅一番街」のリニューアル工事が全て完了しました。このリニューアル工事は、2007(平成19)年より駅の改良工事に合わせて進めてきたもので、工事の進捗に伴い、昨年4月に「ラーメンストリート」がグランドオープン、同年7月には「キャラクターズリート」が増床リニューアルオープンするなど、順次ゾーン毎に開業してきました。

これらのゾーンは、話題の名店や日本初の店などを集積することで注目を集め、連日多くのお客さまにお越しいただいています。

そして、今年3月には待ち合わせスポット「のぞみ広場」が、さらに4月14日には日本初の大手菓子メーカーのアンテナショップを集めたゾーンとして「東京おかしランド」がオープンし、全てのリニューアル工事が完了しました。

5年もの長期にわたるリニューアル工事を終えて、数々の魅力的な店舗が集まった「東京駅一番街」に、ぜひお越しください。



▲4月にオープンした「東京おかしランド」



▲3月にオープンした「のぞみ広場」



▲「東京おかしランド」のオープニングには人気キャラクターが勢ぞろい

119系引退

ありがとう119ウィークス

●東海鉄道事業本部

1983(昭和58)年に営業運転を開始し飯田線の輸送を担ってきた119系車両が、この春に引退しました。これを記念して、3月10日から31日まで「ありがとう119ウィークス」を開催しました。

期間中には、デビュー当時の青色の車両にて、臨時列車「ありがとう119記念号」や「119ファイナル号」を運転し

ました。また、風光明媚な景色を走る119系の絵ハガキがセットになった、台紙付き記念乗車券(硬券)を数量限定で発売しました。

3月20日には、119系を製造した日本車輛製造(株)の専用線沿いがコースに入った、記念の「さわやかウォーキング」を開催し、参加者に特製「119系絵ハガキ」をお配りしました。

「ウィークス」最終日の3月31日には、豊橋駅にてファンイベントを開催し、抽選で1名さまに「ありがとう119」のヘッドマークをプレゼントしました。

今後も様々な観光素材を活用し、在来線の利用促進と沿線地域の活性化を図っていきます。



▲豊橋駅長からの花束贈呈



Thanks 119

記念乗車券

(硬券)

(119系電車記念乗車券)

ありがとう119系
国産車から
辰野ゆゆ
長野線
長野駅
長野駅
2日間券 3,570円

▲「ありがとう119系
記念乗車券」



▲記念乗車券用119系絵ハガキ(一部)

※写真はすべてイメージです。

ホテルアソシア高山リゾート、ホテルアソシア静岡では、東海鉄道OB会会員向けに、夏のご宿泊優待プランをご用意しました。ご予約の際、「東海鉄道OB会 夏のご宿泊優待プラン」とお申しつけください。

期間：平成24年7月1日～平成24年9月30日まで

ホテルアソシア高山リゾート

特典として飛騨染めの扇子が付いたOB会様向けの特別プランをご用意しました。夏の飛騨高山を涼しくお過ごしください。

1泊夕朝食付 お一人様料金(サービス料・税金込)

■(夕食)日本料理会席プラン

	2名1室	3名1室	4名1室
平日	14,000円	12,500円	11,500円
休前日	18,000円	16,500円	15,500円

●メニュー

- 前菜 季節の三種盛り
 - 吸物 湯汁仕立て 枝豆新文
 - 刺身 東海老吉野打ち
 - 漁り 本日の漁り二種
 - 焼物 鮎塩焼き 茗荷・ズッキーニ一青両
 - 焼物 泉舞牛朴葉味噌焼き
 - 煮物 海老宴り揚げ 夏野菜天ぷら
 - 食卓 ちりめん山椒 飛騨地区産ちしかり
 - 香の肴 香出汁
 - 水物 丸炸し餅
- ※食材の入荷状況により、一部内容が変更となる場合がございます。
- ※夕食は5,200円相当のお料理です。
- ※ディナータイム17:00～21:00
- ※7/14、7/15、8/4～8/18、9/15、9/16は休外日



日本料理会席

特典

「飛騨染めの扇子」を一人につき一本プレゼント



飛騨染めの伝統的な技法で仕上げた扇子

10種類の露天風呂と2種類の内湯からは雄大な北アルプスを眺めることができます。



- チェックイン/アウト 15:00/12:00
- 駐車場完備
- JR高山駅から無料シャトルバスあり。または駅から車で約10分

お問合せご予約は Tel.(0577)36-0001まで
ホテルアソシア高山リゾート 〒506-0033 岐阜県高山市越後町1134

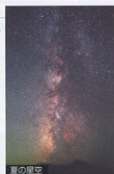
観光情報

■プラネタリウム「夏の星座めぐりツアー」

清見町にある飛騨プラネタリウムで直径9mのドームいっばいに広がる星々をご覧いただけます。晴天時には満点の星空もご覧いただけます。

- 開催日：①7月27日～8月1日 ②8月 3日～8月10日 ③8月17日～8月21日 ④8月24日～8月29日
- スケジュール：ホテル発19:30/ホテル着22:00
- アクセス：ホテルから5分以内で到着
- 料金：金：お一人様500円
- 申込み：ホテルに電話予約
- 先着28名、最少催行人員10名

要予約



夏の星空

■夏の飛騨高山ライトアップ

飛騨高山のシンボルのひとつである中橋周辺が夕闇とともにライトアップされ、一帯には幻想的な雰囲気漂います。夏の高山の夜は涼しく、涼を求める人々を楽しませてくれます。

- 期間：7月7日(土)～8月19日(日)
- 時間：19:30～22:00予定
- 場所：玄川中橋周辺(高山市神明町)
- アクセス：高山駅から徒歩約12分
- 問合せ先：高山市観光課 Tel.(0577)32-3333



中橋のライトアップ

■宇津江四十八滝(東立自然公園)

標高1,200mの滝上川を源として流れ出す四十八滝川は、急峻な谷あいに大小無数の滝を造り出しています。約1kmの遊歩道に沿って、13もの滝が次々と姿を現します。

- 場所：高山市国府町
- アクセス：JR高山駅より車で国道41号経由約30分または遊苑バス利用(平日のみ運行)(遊苑バスに関するお問合せは遊苑バス予約センター(0577)32-1688)
- 料金：清掃協力金 お一人様200円
- 問合せ先：四十八滝総合案内所 Tel.(0577)72-3948



東立自然公園内滝の一つ

ホテルアソシア静岡

1泊夕朝食付 お一人様料金(サービス料・税金込)

	2名1室	3名1室
全日	12,200円	10,500円

- ※夕食は、ディナーbuffet(飲み放題付)、日本料理セット、中国料理コースからお選びいただけます。
- ※ディナータイム17:30～21:00(ラストオーダー 20:30)
- ※平日、休前日とも同料金です。



日本料理セット



中国料理コース

1泊食事なし お一人様料金(サービス料・税金込)

	2名1室	3名1室
全日	6,700円	5,000円

※平日、休前日とも同料金です。



JR静岡駅に隣接し、静岡観光の拠点に最適です。

- チェックイン/アウト 14:00/11:00
- JR静岡駅北口から徒歩1分
- 契約駐車場有 1泊につき1台1,200円

お問合せご予約は 宿泊予約 Tel.(054)254-4148まで
ホテルアソシア静岡 〒420-0851 静岡市葵区黒金町56

- 上記優待プラン以外でレストランをご利用の場合、ホテルアソシア高山リゾートは10%割引、ホテルアソシア静岡は5%割引となります。ご宴会や宴会についてもお気軽にご相談ください。(ご利用の際は「東海鉄道OB会」とお申し出ください。但し一部店舗、商品を除きます。)
- 往復ともJR線をご利用の方は、JR東海ツアーズの旅行商品をご利用ください。



生活不活発病をご存知ですか？

名古屋セントラル病院

リハビリテーション副技士長 奥村 知弘



生活不活発病という言葉を知っていますか？

生活不活発病は、その文字が示すように体を動かす機会が減り「生活が不活発」になることで、心肺機能や筋力などの機能が低下する病気です。「動かないと体がなまる、弱る」というのは常識ですが、高齢者や障害のある人に起こりやすいと言われていてます。

この生活不活発病は災害時に起こりやすいことが2004年の中越地震の際に言われるようになりました。介護を受けていない高齢の被災者全体の約3割に歩行の難しさを感じる人が現れ、6ヶ月後も全体の約1割が回復しませんでした。これは避難所や仮設住宅を利用した人だけではなく、在宅生活の被災者にも生じました。

この生活不活発病は、災害による避難生活や屋外に出ることが少なくなれば、高齢者以外にも起こる可能性があります。そこで、生活不活発病を予防するためのポイントをご紹介します。

予防のポイント

日頃より体を動かすことを心がけましょう。日中ずっと横になったり、ゴロゴロして過ごさない。少なくとも1日1回は起き上がり、身の回りを片付けるなど、屋内でも体を動かすことを心がけましょう！

※ただし、持病のある方、体力に自信のない方は医師や医療関係者に相談してください。

高齢者を持つご家族の皆さんへ

○「大丈夫」を顰呑みにしないでください

高齢者の方は家族への遠慮から「大丈夫」とついつい答えてしまいがちです。その言葉を顰呑みにするのではなく、家族が「立つ、座る、歩く」の動作を確認するなどの心配りをしてあげてください。

○散歩やスポーツに誘って、日常生活の活性化を心がけましょう

高齢者の方を運動に誘い、体を動かす機会を与えてあげてください。その時は一度に多くの運動を行うことは逆効果です。少ない量の運動を継続的に行えるようサポートをしてあげてください。また、運動の際に声掛けしてコミュニケーションをとれば、脳の活性化にもなります。

日常生活では運動を心がけ、手・足・頭の活性化を心がけましょう。



本部長退任に当って



前静岡地方本部長
小尾 嘉俊

OB会は昭和28年5月「国鉄OB会同志会」の誕生に伴い、昭和29年から各地で「同志会」の輪が広がった。昭和41年5月各鉄道管理局で地方OB会同志会支部連合会を創立、翌昭和42年4月から静岡地方本部として発足した。

一方、国鉄は昭和39年度からの赤字体質から抜け切れず、昭和58年5月「国鉄の経営する事業の再建に関する措置法」が公布され、いろいろな経緯を経て分割民営化が決定した。

国鉄職員は満鉄から、そして戦前国鉄に勤務していた引き揚げ者が就職し、職員数は一時50万人余になり国の施策とは言え共済組合の破綻は明らかであった。そのうえ分割民営化により社員数が激減し、OB会加入者は減少の一途を辿っている。

私が、平成15年9月、故松井行夫さんから引き継いだ時は、全国組織から各鉄道会社ごとに組織を変更する時期で、その打ち合わせが頻繁に行われ、OB会員の減少をどうして食い止めるかが話題の中心であった。当時、静岡地方本部は約6,000人で御殿場線に4つの支部があったが、その大半は東京南局の出身者で、残念な

ら約500名の退会者を出す困難な船出となった。その後もOB会員の高齢化は一層進み退会者は増え、一方加入者は年金支給開始年齢の引き上げによる東海旅客鉄道株式会社の定年引き上げで厳しい状況にある。

JR時代に入って国鉄時代と大きく変わったのがお座敷列車の廃止であり、各支部ごとの集客は難しくなった。そのため会員との触れ合いが少なくなり、OB会活動にも支障をきたし支部組織に徹底さを欠き、OB会組織の基本とも言える会員増強活動の周知に、ともすれば阻むこととなっていることは間違いない。OB会組織の魅力づくりは、会員相互の親睦、文化スポーツの活動であるが、これも特定者に限り会員がこぞ集まる雰囲気にはなっていない。

冒頭で述べた由緒ある鉄道OB会存続の為、現在3,700名余りとなった会員をどのような諸施策を講じていくか、これからが最も大切な時期に引退するのは大変心苦しいが、新しい人に新たな目で見えて頂くのも必要であると考え、今回6月11日の地方本部総会に限り、承認いただいた次第である。

なお、私の後任には焼津支部から西郷 弘氏が就任しました。私同様ご支援をお願いします。

長い間ご協力を賜り有難うございました。

鉄道工友会誌で優秀賞を受賞



浜松支部
服部 榮一郎

私は今回、鉄道工友会誌の第29回年間会報賞の優秀賞を受賞しました。受賞の対象となったのは「佐鳴湖ウォーキング記」です。推薦してもらった方にお礼申し上げます。

私は、1994年「私とパソコン」を投稿して以来、いろいろな「ジャンル」の記事を投稿しました。その記事はホームページHNNZOのデジタルノートでアドレスは<http://homepage3.nifty.com/hattutori/>のデジタルノートやブログに記録してあります。

佐鳴湖は、浜松市中央区にあり市民の憩いの場として親しまれ、そこでウォーキングも出来ます。最近、ウォーキングが手軽に出来る「健康法」として、特に高齢者に愛好されています。「佐鳴湖ウォーキング記」は、一昨年周遊道路が整備されたのを機会に、妻とともにウォーキングに挑戦した記録です。幸いにも関係者の皆様

の賛同を得て受賞したと思っています。

ブログの記録内容の一部を紹介すると、ITのため私が読んだ数冊の本を紹介しています。そして私の「ホームページ」の作成記録です。このページを作るため「HTML&スタイルシートレッスンブック」を参考にしました。おかげで現在も更新して公開しています。

私は昭和21年に東京鉄道教習所専門部機械科に入所し3年間の教育を受け、旧高等学校・大学予科卒業資格を探り「文部省」から認められました。

私はこの資格をもとに「技術士」と「電気事業主任技術者」の資格を採ることが出来ました。国鉄退職後は70歳まで中部電気保安協会が電気保安業務につくことが出来ました。

おわりに、私には素晴らしい鉄道OB会報と工友会誌に恵まれたことに感謝し、今後も投稿を続けていきたいと思っています。

老いと病に追いかけて



原支部
大竹 俊郎

88歳になった。昨年鉄道OB会から米寿のお祝いしてくれると言われて初めて私も88歳になったと気付いた。思えば貧乏な農家に生まれ、満州事変以後の戦争時代に育ち、早く国鉄に就職、赤字や労使紛争、駅ビルの建設と忙しく過ごしてきたので、還暦も喜寿も気付かないまま過ごした。貝原益軒の言葉に「越し方は一夜かぎりの心地して、八十路余りの夢を見しかな」とあるがまったくその通りで、私も70代位までは人生を意識することなく一瞬一瞬ただ努力・努力で過ごし、アッという間に80代に入った感じである。

ところが、80歳を過ぎて初めて老齢を意識し、精神と肉体の乖離に出会い、まず81歳で胃がんを切除、何とか切り抜けたと思ったら86歳で心臓病となり、現在病氣と闘争中である。医者への言によれば狭心症なので、溫和しく自分の分を守れば大丈夫と言うので、折角20数年続けてきた社交ダンスも休止して、身の丈にあった野菜作りと読書で過ごしている。

その間にも老は進み、その先は100%終わりが待つ

ているので、私は老と共生する3カ条を決めている。

OB会でも話していることであるが、一つは「自立」。自分で出来ることは他人に迷惑かけないで自分でできるようにしている。孤独にならないかという人があるが、世の中の情報を集めれば講演会、勉強会など沢山ある。自分で働くことである。白隠禅師のいう「動中の工夫は静中に勝ること百千倍倍」である。

第2は、これら必要とされる病院や特に介護サービス情報をしっかり把握している。介護が必要になった時、まず相談すべきところは「地域包括センター」であるのをご存知でしょうか。また平常の病氣はかかりつけの医者に相談して速やかに対処している。

第3はお金。個人によって千差万別であるが、とにかく我々は国鉄共済年金に守られているので、その範囲のお金はしっかり把握しておくべきです。

老の進行は止めようがない。若いときのように体が動かない。だから私は明日と言う日は無いものと思って、一日一日の今を大切に元気に生き抜いて行きたい。人間80にして心の欲するところに従って矩を越えずで、彼岸へジャンプしてゆきたい。

我が儘な追憶でも心の故郷になる



藤支部
戸田 速雄

歳を重ね、次第に友人との接触も少なくなると、思い出に耽る時間が多くなる。己を振り返りながら其処に心の安らぎを求めているのかも知れない。初夢ならぬ初思い出は、生産性向上運動が叫ばれ、国全体に活気が湧り国鉄の輸送需要も活発化してきた頃、国鉄の内部では生産性向上運動の取り組みの失敗から端を発して労使関係が乱れ、各職場内の紛争と混乱が長期に渡った。

世情に遅れまいと誰もが感じかけていた時、商工会議所が主催した「生産性向上に関する講演会」があり参加した。その講演の中で「これからは機械化・近代化時代となりコンピューター機器が進歩し、機器の指示通りのボタン操作だけで目的が達成される社会が来る。今までのように生産を上げるために精鋭主義を採らなくても、少数にすれば精鋭になるとの考えで方々に対処すればよく、金と時間をかけ精鋭をつくる必要はなく、扱う人も専門職と固定化しなくて済み、より合理化が進み生産性向上に繋がる社会が来る」と話された。

また、問題点としては「人間同士の会話より機器との会話が必要となるため、人間相互間の繋がりが欠け、各々が孤立するための弊害による効率低下が考えられるので、人間相互の連携に気配りが必要となる」と話され、講演が終わり現実とのギャップを感じ半信半疑で会場を後にした。

あれから30数年たった現在、何時の間に私達の日常生活には、あらゆる面でコンピューター関連機器が普及し活用範囲を広げている。使い始めは能書きをよく理解しなければ前に進めないなど煩わしさはあるが、慣れれば便利で気楽でもある。

企業の実社会面ではどの様に変ったかわからないが、鉄道利用の場合でも目的地へ行くのに切符購入から始まるが、社員と言葉を交わし案内を乞うこともなく、機器との対話だけで目的達成出来る。機械化近代化の世界とは、機器を使いこなすより振り回される時代の事なのかも知れない。

機器を作るのも、使うのも、使われるのも人間には間違いない。



孫たちと念願の「ホテルアソシア高山リゾート」一泊の旅

中津川支部 荻野 清

OB会からのお得な情報で、2月18日、一度泊ってみたいと思っていた「ホテルアソシア高山リゾート」へ娘夫婦と孫連6人で、冬の風景を楽しみながら車で出かけました。

ホテルでは、家族一緒になって美味しい料理をいただき、温泉にゆっくり浸かり、ホテルで至福の時を過ごしました。

翌日は、高山の「祭りの森」、そして、冬の「白川郷」へ行き、孫連との触れ合いを深め久し振りの家族旅行を妻とともに満喫しました。



我が家の孫は近所でも宝もの

島田支部 大石 武義

孫の駒子が生まれてから家の中が明るくなった。泣いた 笑った 歩いた 近所の人も喜んでくれた。

水に顔をつけられないと泣いて通ったスイミングスクール。あれから10年、今ではスイスイ水中。そしてエレクトーンにピアノ、1輪車といろいろなものに挑戦し、近所の人に褒められ、励まされ最後までやり通した小学生。

卒業の日、「1日も休まず卒業出来ました。有り難うございました」と近所の家々を一人で回った。そして中学生に-



「東日本大震災の記録」発刊について

東海鉄道OB会 事務局

昨年、3月11日「東日本大震災」が発生し、東日本鉄道OB会の岩手、仙台、水戸地方本部に大きな災害をもたらしました。東海鉄道OB会の皆様に、心温まる義援金を多数お寄せいただき有難うございました。昨年6月、日本鉄道OB会連合会をおして東日本鉄道OB会へお渡ししました。

震災から1年余りが経過し、被災者の方々にはOB会員の強い絆に支えられながら徐々に元を取り戻しつつあると思います。この度の震災で、鉄道OB会会員が得た現実で貴重な体験を、今後の災害防止に役立てばと「東日本大震災の記録」として文集にまとめられ、発刊されましたのでお知らせします。購入を希望されます方は次の方法でお申し込み下さい。

●申し込み方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してハガキ又は手紙でお申し込み下さい。7月31日消印有効。

●申し込み先

〒110-0005
東京都台東区上野7の1の1
東日本鉄道OB会宛

●値段

1部 700円(送料込)
お送りする文集に振込用紙を
同封します。



インストラクター

誰でも出来る
楽しいグラウンドゴルフ



湖西支部
瀧澤 典年

私が指導している湖西支部のグラウンドゴルフ同好会は、平成17年10月、会員の健康と親睦をスローガンに発足して7年目を迎えています。当初は、30名の会員でしたが寒さ、暑さに耐えきれず欠席者が多くなってきました。

平成23年度の実績は、週2回で述べ780名の参加でG・ゴルフを楽しみました。最近では、旅行を兼ねてG・ゴルフを行い温泉で汗を流し、表彰式・懇親会を開催して普段の2倍の楽しみを提供し皆さんに喜んでもらいました。

「健康は自分自身の宝物」食の管理は勿論、運動への参



▲熱心に会員に指導する瀧澤さん

加を重点に、元気は自分のものと思って続けて頂きたいと願っています。「G・ゴルフ」誰でも出来る燃えてくる。膝痛、腰痛、肩こり痛も忘れて夢中で玉を打つ、それがG・ゴルフの面白さ、さあ初めてみましょう。



中央本線 木曾福島駅

- 開業 / 明治43年11月25日
- 所在地 / 長野県木曾郡木曾町福島



「山蒼く、暮れて夜霧に灯をともし、木曾福島は谷底の町」とは歌人・太田水穂の歌である。町の中央を流れる木曾川の谷あいの狭く限られた土地を活かし、床を川上に張り出して建てられた「崖屋づくり」と呼ばれる独特な家並みを見れば、木曾福島を「谷底の町」と表現したのもうなずける。

1981年(昭和56年)に新築された駅舎は、ロジック風の大きな切妻屋根をもつ堂々たる造りで、この地がかつて御場町として栄えた雰囲気が残る。東に木曾駒ヶ岳、西に御嶽山を望み、夏は中央アルプスへの登山口、冬はスキー場への中継地として多くの人で賑わう。

開業時の住所は西筑摩郡福島町。1967年(昭和42年)に新開村との合併により木曾福島町となり、翌年には西筑摩郡から木曾郡へと改称。2005年(平成17年)に

は木曾郡木曾福島町、日義村、開田村、三岳村の1町3村の合併により木曾町となった。

古くから木曾地域の政治・経済・文化の中心地として栄えてきた木曾福島。明治以降の度重なる火災により宿場町としての情緒は薄れつつあるが、かつての面影を見つけることは可能である。

中でも代表格は「山村代官屋敷」。御下屋敷の一部の城陽亭や、山村蘇門の家臣・学友であった石作駒石の書斎「翠山桜」、そして築山泉水式の美しい庭園など、山村氏がこの地を治めていた頃を今に伝える。また、屋敷では抹茶をいただくことができ、年に数回はお茶会も開かれる。木曾路を散策し、歴史に触れた後の抹茶は格別だろう。

沿線歩記は、JR東海の社内誌「おれんじ」2010年8月号から抜粋し再構成したものです。

文芸

【短歌】

手の中の 珈琲カップの 温もりには

独り居しずけし 月を眺めて

おのが影 引きずるが如く 歩み来し

人世の先は 今だ見えなむ

陶都支部 伊藤博司

洋裁や バッチワークに 励みいし

妻を蝕む 病が憎し

病妻の 食べこぼしたる めし拾う

悲しかりしや 病と言うわ

津支部 関 俊雄

凍星の 徳年かけて われの目に

光射したり 老いたる處に

剪定の すみたる庭を 見て友は

白椿など 切れといふなり

中津川支部 細江 煎

母なれば 心灯 ともる迄

口には出さず 子を忍ぶ今

日曜日 来るは来るはの 孫とヒコ

満買御礼 スモウぢやないが

磐田支部 鈴木さよ子

卒寿の春 戸惑い買ひし 三年誌

最後の頁を 楽しみ綴る

うたた寝の 老いをゆすりて 亡き君の

優しき言葉 心が和む

四日市支部 古市月代

【俳句】

富士景色 新東名や 夏来たる

白百合や 花嫁御寮 無垢悲し

静岡支部 大場慶一

子を想う 願いさまじま 吊るし雛

月光に 浮びあがりし 桜かな

東海東京地本 藤田 敏

開け放つ 間口四間の 雛の宿

校庭の 歓声高し 木の芽とき

浜松支部 大倉照二

意地になる 桜散る頃 貝になり

桜散り 草葉の陰に 顔を出し

垂井支部 広瀬裕義

初ものの 筍うまし 酒うまし

停るたび 土産ふえゆく 春の来

津支部 奥村大喜男

警策に 八十路の不徳 論される

住む街を 愛して続く ホランティア

大府支部 藤井芳雄

うすれゆく 家族の絆 結ぶ曾孫

趣味の会 友が友呼ぶ 光る貌

四日市支部 小川 勇

最愛の人を 夫い 津波には

辛いこと 悲しいことも 人生さ

沼津支部 山田寿男

男生み 落胆随す 嫁姑

女子の世に 草食男子 力なし

西濃支部 高畑正良

【川柳】

東海鉄道OB会では、5月23日の総会で石塚正孝会長から天谷昭裕会長に交代し、新しい会長の
下で各地本・各支部がそれぞれの課題を持って、OB会活動に取り組むことになりました。また静岡
地方本部長が小尾嘉俊氏から焼津支部の西郷 弘氏に代わりました。

編集後記

1. 地本・支部だより

24年春の生存者叙勲が発表になり、東海鉄道OB会の幅広い分野から8名の方が受章されました。

名古屋地方本部に4月1日、待望の亀山支部が誕生し、会員増強に大きく貢献し、今後の活躍が期待されます。

静岡地本では、女性の進出が目覚ましく、役員に就任したり、総会に初めて出席する等各地に大きな話題を提供しそうです。

2. 読者のひろば

前静岡地方本部長の小尾嘉俊さんが、「本部長退任に当って」を寄稿され、今後のOB会の行く末に危機を語られています。

私達は、この言葉を良く噛みしめて由緒ある東海鉄道OB会を大きく育てて行きましょう。

3. 投稿ページ

島田支部の大石さんの孫娘駒子さんは、大変頑張り屋さんで、何にでも挑戦し最後までやり抜く努力家です。近所の方からも可愛がられ今後の成長が楽しみです。

中津川支部の荻野さんは、念願のホテルに家族で行かれ、家族のほのぼのとした様子が伝わり温かさが感じられます。

4. その他

30号では、会報への寄稿・投稿要領の記事に差し替えて「東日本大震災の記録」の発刊を掲載しました。寄稿・投稿の要領は前号を参照下さいませようお願いします。

(南川)



本物に、逢いに行こう。



さあ、夢と想い出のミュージアムへ。



リニア・鉄道館



JR名古屋駅よりあまみち「金城ふ頭駅」下車
徒歩約2分(名古屋駅～金城ふ頭駅間片道24分)

リニア・鉄道館

開館時間：10:00～17:30(最終入館は開館30分前まで)
 休 館 日：毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日～1月1日
 ※夏休み期間中は火曜日も閉館
 入 館 料：1,000円【小・中学生500円、幼児(3歳以上)200円他】
 ※写真は全てイメージです。

JR OB とうかい

Vol.30 2012年7月

発行/〒450-0002 名古屋市中央区名駅3丁目13-12キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/南川 靖 TEL.052-562-6080(FAX兼用)



「のぞみ」と 「のぞみ号」が 成人式

沼津支部 高橋 秀則

10年一昔と言いますが、二昔前のそれは平成4年3月18日のことでした。新幹線「のぞみ号」の誕生とほぼ同じくして、我が家に二番目の孫娘「のぞみ」が誕生しました。その後新幹線「のぞみ号」は、20年間JR東海のドル箱として無事故で成人式年数を迎えました。孫娘の「のぞみ」は、私の長女の長女として誕生して以来、すくすくと健康で健やかに育って20歳を迎えました。今、将来の夢に向かって大きく羽ばたこうとしています。

元気な時もあったよ!

中津川支部 野澤 黎二

旅行の度に現地の名所入りの手拭を集め、裃や、ドレス、人形、カツラなどを妻に作ってもらいました。定年後も、それを着たり、付けたりして浜曲子守唄、岸壁の母等をOB会や、老人会で踊り、歌いみんなに喜んでもらいました。ちょうど家族が集まる機会があり、写真や裃等を見せたところ孫、曾孫いわく「いいちゃん こんな元気な時もあったの?」と……



「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報「JOBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあったもので、JR東海エリアを希望しています。写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータでも結構です。お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿 ページ	会員及びご家族により親しまってもらおうと、「投稿ページ」の欄を設けました。家族成しは友達と一緒に、楽しいOB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部 だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知し魅力ある支部、活力ある支部づくりに役立てていきますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容等は自由ですが、400〜500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに宮城県書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内の限り、会報発行時の季節にあつたものとします。応募の際、冠部に「短歌」「俳句」「川柳」と朱書きして下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんだ写真があれば添付して下さい。	掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでお知らせ下さい。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-13-12 キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係宛

インストラクター

観光ボランティアで町づくりに貢献



笠寺支部
酒井 兼夫

私はJR在职時代、電気関係の仕事をしていました。歴史に興味があり、65歳で退職してから、鳴海学習センターで講座を受けたのが縁で、地元の有志の方たちと平成13年4月に「鳴海の町ガイドボランティアの会」を結成しました。

平成13年は、東海道に宿駅・伝馬制度が整備されて400年にあたり訪れる人が多く大変やがいのある毎日でした。以来10年が経過して、活動の範囲を「大高の町」まで広げ、愛知観光協会や日本観光協会に加入し、イン



▲酒井さんは今日も元気に観光客を案内

ターネットにホームページを立ち上げPRの範囲を全国に広げました。地元の人は勿論、遠くは福井県などから観光バスで来ていただき大変感激した想いがあります。

自分の趣味を生かして、健康で地元の人達や、観光で訪れる人達に貢献出来ることに喜びを感じています。またOB会の皆さんも、是非私の案内で鳴海の町を歩いてみて下さい。お待ちしております。

沿線歩記
Ensen-aniki

東海道新幹線 おたわら 小田原駅

- 開業 / 昭和39年10月1日
- 所在地 / 神奈川県小田原市城山1丁目



平塚と大磯の境あたりから短いトンネルをいくつか抜け、弁天山トンネルを出ると御殿場線と立体交差する。綾瀬から鶴宮までの区間は、東海道新幹線のモデル線として早期に線路が建設された。東海道本線と並行して酒匂川の橋梁を渡ると、小田原駅。東海道本線・小田急線・箱根登山鉄道・伊豆箱根鉄道との乗換駅で、天下の箱根根への玄関口だ。

ホームから望む白亜の三層天守閣はまちのシンボル。江戸時代の本丸があった場所として1960(昭和35)年、小田原市制20周年の記念事業として再建された。

西口の駅前広場には北条早雲の銅像が建つ。戦国大名のさきがけとして、類稀なる武略の才を発揮し、関東一円を支配した早雲。伊豆を平定後、小田原城を攻略し、東国に覇を唱えた。以後、五代100年に及び北条家繁栄の礎を築く。

小田原の発展は早雲の時代から本格化する。二代氏綱の頃には、すでに城下に用水路が引かれていたという。また、芸術に深い理解を示した北条一族は、海外交易などを

通して成熟した文化を形成し、城下町の整備とともに、その主城である小田原城郭そのものも拡充していった。

全国でも屈指の梅の名産地として知られる小田原だが、そのルーツも早雲にある。小田原城を攻略後、早雲は城内や武家屋敷に梅の植樹を命じた。梅干は、籠城時の食料になり、出兵時の携帯性にも優れ、疲労回復などの様々な薬効もあるため、梅の栽培と梅干作りを大いに奨励した。今では梅の花は小田原の市章や市花に採用されている。

意外な名産品と言えば「外部」。かつて、「礼部員外部」という官職にあった中国人・陳延祐が日本に帰化し、「陳外部」と改名。室町時代、陳家で作られた漢方薬を「外部」と呼び、朝廷への接待に用いた菓子は「お菓子の外部」と評判になった。その後、早雲に招かれた陳外部郎家は代々小田原で薬と菓子を作り続けている。ちなみに、お菓子の「いろいろ」は江戸初期に名古屋へも伝わったようだが、名古屋名物となったのは昭和に入ってからという。

沿線歩記は、JR東海の社内誌「おれんじ」12月号から抜粋し再構成したものです。

文芸

【短歌】

お互いの 健康よろこび 新年の
グラウンドゴルフ 歓声ひびく
老醜を 晒したくなし 老いてなほ
身なり整う 新春ゴルフ

津支部 岡 俊雄

挨拶の 田毎の月と 千曲川

川中島も 我別離せり

しなでは リンゴとソバと 仏を見

まほらばの月 持つて帰るなり

垂井支部 広瀬裕貴

一年の 月日流れて 東北の

空にひびけよ 復興の鐘

父母のよに 慈悲と力で 復興の

手をさしのべて 東北の地に

磐田支部 鈴木きよ子

歳立つ 天下分け目の 関ヶ原

戦かすの 新幹線往く

黒霧の 多き今年の 集會に

天災忘る 身の哀れなり

西濃支部 高畑正良

家出せし 妻あるを言う 公園に

クラスへ顔を 撮さし人の

日中は 四度という日 ストリーブを

付けっぱなしに クベとなりぬ

浜松支部 原 哲

【俳句】

暖かや 菜の香流るる 畑仕事
スケッチの 画面をゆれる 若葉影

名古屋臨海支部 伊藤鈴登

読み直す 十七文字や 初便り
学友の 訃報又くる 師走かな

西濃支部 久世武治

穏やかに 願ふ未知の日 日記買う
鴨港る 逆さ伊吹を 震わせた

山東支部 久保田かよ子

山椒の 鮮なる春 御幣餅
天竜の 水嵩増せり 山笑う

東海東京地本 平沢英男

酔芙蓉 貴方と同じ 我も下戸
終まれて 断り切れぬ 苦い酒

名古屋運輸車両支部 服部幸夫

飛車角も 春車の意気な 後ずさり
もつともな 意見ばかりの 外野席

岐阜工務局支部 弓術英二

聞き流す こども覚えた 空世辞を
一日の カレンダーはがし 歴史でき

沼津支部 山田寿男

ありがたや 夫婦そろって 初詣
元氣かよ 八八歩いて 九十七まで

美濃太田支部 竹内幸一

【川柳】

ことのほか寒さが厳しかった冬が終わり、南から花のたよりが暖かい風に乗ってすぐそこまで来ています。鉄道OB会では新年度を迎え、各地方本部及び各支部の役員の方たちが、総会に向けて楽しい話題、うれしい話題作りに追われてみえる時季だと思います。

編集後記

1. 地本・支部だより

支部の活動が活発に行われ、今月号は12地本・支部の活動状況をご紹介します。地元へ積極的に貢献する支部、JRへ貢献する支部、支部内の旅行会で楽しむ支部などいろいろで、支部活動の活性化に向けて大変頼もしい存在で、他支部へ波及することを期待しています。

2. JR東海トピックス

今月号では、東海鉄道OB会の皆さんにJR東海グループのホテルやチャオ御岳スキー場の優待プラン情報を掲載しました。これからもJR東海と連携して随時お得な情報を提供していきますので、支部活動の一環として、またご家族でご利用いただけますようご案内します。

3. インストラクター

笠寺支部の酒井さんは、地元鳴海町及び大高町で観光案内のボランティアをされ、OBの方も是非おいで下さいと呼びかけられています。支部のみんなで訪れ、歴史を感じてみては如何でしょうか。

4. 投稿ページ

沼津支部の高橋さんのお孫さんが新幹線の「のぞみ」と同じ名前前で今年20歳を迎えられ、その嬉しさがひしひしと伝わって来ます。中津川支部の野澤さんもますます元気で、往年を思い出して頑張ってください。このようにほのほのとした温かいご家族の投稿をお待ちしています。
(南川)

2012

気軽に参加できる

さわやかウォーキング

参加費無料
予約不要
駅がスタート!



全117コース

3/3土~6/24日 土・日・祝開催



東海線-名古屋
お茶の園行



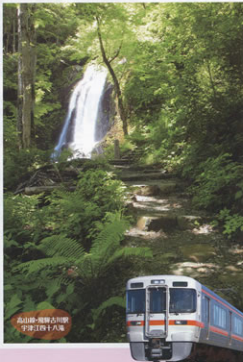
東海線-名古屋
新栄川の桜の杜之旅



東海線-新津駅
越前湖からの富士山



東海線新井駅-高松駅
上知神社



高山線-徳島古川駅
宇津江四十八滝



中央線-名古屋駅
会津川原

※写真は全てイメージです。

さわやかウォーキングの詳細については、JR東海の駅にある
専用パンフレット又は、ホームページをご覧ください。

JR東海ホームページ <http://jr-central.co.jp>

JR OB とうかい

Vol.29 2012年4月

発行/〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3丁目13-12キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/南川 靖 TEL.052-562-6080(FAX兼用)